

News Release

2014年10月30日

報道関係者各位

イーソル株式会社

セーフティクリティカルなシステムに最適な DiSTI 製 2D/3D GUI ツール「GL Studio」が

TRON ベースリアルタイム OS 「eT-Kernel」 をサポート

～機能安全規格対応が必要な車載、航空宇宙、医療システムなどに最適～



イーソル株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：長谷川 勝敏、以下イーソル）は、 μ ITRON の次世代 OS である T-Kernel を拡張・改良したイーソルのリアルタイム OS 「eT-Kernel」に、アメリカの DiSTI Corporation（以下 DiSTI）が開発・販売する 2D/3D GUI ツール「GL Studio」が対応したことを発表します。この対応により、eT-Kernel ユーザは、航空宇宙や車載、FA・産業、医療など、セーフティクリティカルなシステムの開発が求められる機器において、高い信頼性を確保しながら、先進的で洗練された 2D および 3D グラフィックスを実装できるようになります。

イーソルは、2014年10月30日(木)に東京コンファレンスセンター・品川で開催される「ARM Technology Symposium 2014 Japan」にて、GL Studio で作成したクラスタメータが eT-Kernel 上で動作するデモを実演します。

GL Studio は、航空・宇宙機器向け電子機器や医療機器向けディスプレイパネルなどのシステムで採用実績があります。米国の航空無線技術委員会 (RTCA) が、航空機ソフトウェア開発のガイドラインである DO-178B の中で開発したテスト網羅度 MC/DC (Modified Condition/Decision Coverage) で 100%を実現しており、安全性および信頼性が実証されています。GL Studio のコンパクトな OpenGL ベースのランタイムライブラリにより、システムの起動時間やグラフィックのレンダリングスピードにおいて、高いパフォーマンスを実現できます。GL Studio は、オートデスク社製 3ds Max®とアドビ社製 Adobe Photoshop のファイルフォーマットとの互換性があるため、これらのグラフィックエディタツールで作成されたコンテンツを利用できます。また、マルチプラットフォームに対応し、ソフトウェア資産の流用が容易です。DiSTI は、GL Studio の自動車向け機能安全規格 ISO26262 の認証取得に向けた取り組みを行っています。

eT-Kernel は、 μ ITRON のアーキテクチャと優れた性能を引き継ぎ、T-Engine フォーラムからオープンソースで提供されるリアルタイム OS T-Kernel をベースに、イーソルが独自に拡張・改良したリアルタイム OS です。eT-Kernel の優れたリアルタイム性と高い信頼性により、クラスタメータや ADAS などの車載情報機器をはじめ、航空宇宙機器、FA・産業機器、医療機器など幅広い分野での多彩な採用実績があります。eT-Kernel には、Linux と高い互換性を持つ POSIX 仕様準拠リアルタイム OS 「eT-Kernel/POSIX」を含む、システム規模と用途にあわせて選択できるスケラブルな 3つのプロファイルで構成されています。これにより、将来的にシリーズ製品や後継製品を開発する場合にも、ソフトウェア資産を共通化した効率的な開発ができ

ます。

eT-Kernel は、開発ツール、各種ミドルウェア、およびプロフェッショナルサービスと統合し、ソフトウェアプラットフォーム「eT-Kernel Platform」として提供されます。eT-Kernel プラットフォームは、2014 年第 4 四半期に、自動車向け機能安全規格 ISO26262 および産業機器向け機能安全規格 IEC61508 の第三者認証機関による認証を取得予定です。機能安全に対応済みの eT-Kernel プラットフォームを提供することで、ユーザの機能安全規格の認証にかかるコストの大幅な低減に貢献します。

DiSTI Corporation Director Global Sales Chris Giordano 様のコメント

「GL Studio が、多彩な採用実績のある TRON ベースの eT-Kernel に対応したことを大変光栄に思います。今回の対応により、日本で最も採用されている TRON ベースの組み込み機器で、先進的なデザインの GUI を実装できます。さらに、航空宇宙や車載情報など、セーフティクリティカルな分野で数多く採用されている GL Studio と eT-Kernel を組み合わせて使うことで、ユーザの高信頼・高精細なグラフィック機器開発に貢献できると確信しています。」

イーソル株式会社 執行役員 エンベデッドプロダクツ事業部長 上倉 洋明 のコメント

「安全性が重視される航空機のコックピットや医療機器向けのディスプレイでの採用実績がある GL Studio を、 μ ITRON のアーキテクチャと性能を継承する eT-Kernel を使ったシステム向けに提供できるようになりました。機能安全に対応した eT-Kernel と GL Studio の組み合わせにより、自動車、FA・産業、医療などのシステムでニーズが急速に高まっている機能安全適合を実現しながら、洗練された GUI の実装を可能にします。」

■ 補足資料

eT-Kernel Platform について

eT-Kernel プラットフォームは、イーソルのコア技術を注入したリアルタイム OS をベースとするソフトウェアプラットフォームです。eT-Kernel プラットフォームにより、ソフトウェア共通化によるコスト削減および開発期間短縮と、システムの信頼性確保を支援します。マルチコアプロセッサもサポートする T-Kernel 拡張版「eT-Kernel」と μ ITRON4.0 仕様準拠「PrKERNELv4」を中心に、開発ツール「eBinder」、ネットワーク/ファイルシステム/USB/グラフィックスなどの豊富なミドルウェアに加え、製品サポートや受託開発などを含むプロフェッショナルサービスで構成されています。動作検証があらかじめ済んでいるので、チューニングやカスタマイズなどの必要なく、すぐに動作します。ソフトウェアだけでなく、ニーズに合わせたプロフェッショナルサービスをあわせてご提供することで、開発者がアプリケーション開発に専念できる環境を作ります。eT-Kernel プラットフォームは、カーナビやデジタル家電に加え、航空・宇宙分野、FA 機器、OA 機器など幅広い分野で多くの採用実績があります。

▽ 「eT-Kernel Platform」詳細：<http://www.esol.co.jp/embedded/ecros.html>

イーソル株式会社について

イーソル株式会社は「Inside Solution」をブランドスローガンに、1975 年の創業以来、組み込みソフトウェア業界、および流通・物流業界で実績を重ねて参りました。ユビキタス社会を内側から支える技術者集団として、お客様の満足を第一に、開発、販売からサポートまで一貫したサービス、そしてトータルソリューションを提供しております。弊社は創業直後より 30 年以上にわたって、高信頼かつ高性能の組み込み OS・開発環境・各種ミドルウェアを自社開発、販売し、デジタルカメラなどの情報家電製品から車載情報機器や人工衛星システムにいたるまで、数多くの組み込みシステムに採用いただいています。日本市場のみならず、北米、ヨーロッパ、アジア市場向けに製品・サービスの販売活動を広げています。さらに、顧客様のシステムに特化した組み込みアプリケーション開発やコンサルテーションも創業時より行っており、これら様々な規模のシステム開発実績による技術とノウハウの蓄積を背景としたサービスは、多くの顧客企業様より高いご信頼をいただいております。また、組み込み技術の応用市場としての流通・物流業界においても、指定伝票発行用車載プリンタ、耐環境ハンディターミナル、冷凍庫ハンディターミナルなどの製品企画および販売を行い、高い評価をいただいております。

▽ eSOL ホームページ：<http://www.esol.co.jp/>

*eBinder、eParts、PrKERNEL、PrKERNELv4、PrFILE、PrCONNECT、PictDirect は、イーソル株式会社の登録商標です。*eT-Kernel、PrUSB は、イーソル株式会社の商標です。*ITRON は "The Real-time Operating system Nucleus" の略称です。*ITRON は "Industrial TRON" の略称です。* μ ITRON は "Micro Industrial TRON" の略称です。*TRON、ITRON、T-Engine、T-Kernel はコンピュータの仕様に対する名称であり、特定の商品ないしは商品群を指すものではありません。*記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先



イーソル株式会社 マーケティング部

Tel : 03-5302-1360 / Fax : 03-5302-1361 e-mail : media@esol.co.jp

URL : <http://www.esol.co.jp/>